



香芝市二上山博物館

NIJYÔSAN MUSEUM KASHIBA-CITY

■全国初 旧石器文化を紹介する石の博物館■

二上山と3つの石 よみがえる旧石器時代

かしばし にじょうさんはくぶつかん しょう ちゅうがくせいよう げんし こだい
香芝市二上山博物館 小・中学生用ガイドシート 原始・古代へいこう！

サヌカイトとは

かしばし にじょうさんはくぶつかん す
こんにちは。わたしは香芝市二上山博物館に住んでいる

きはかせ
“かしの木博士”。

きょう かしばし にじょうさんはくぶつかん しょうかい
今日は、香芝市二上山博物館のことを紹介しよう。

かしばし にじょうさんはくぶつかん にじょうさん いし
香芝市二上山博物館は二上山の石—

ぎょうかいがん こんごうしゃ はくぶつかん
サヌカイト・凝灰岩・金剛砂の博物館なんだ。

いし
この3つの石のこと、もっとくわしく知りたくないかい

いし
それでは、わたしがこの3つの石をたどって

げんし こだい あんない
原始・古代へ案内しよう。

きはかせ
かしの木博士



■サヌカイト

なまえ かがわけん なまえ さぬきのくに な
サヌカイトという名前はね、香川県のむかしの名前(讃岐国)にちなんで名づけられたんだ。

おおむかし だせいせっき ざいりょう きんきかくち つか
サヌカイトは大昔に打製石器の材料として近畿各地でさかんに使われたんだよ。

きゅうせっき じだい じょうもん じだい やよいじだい じだい お せっき りょう しかた
旧石器時代⇒縄文時代⇒弥生時代と、時代を追って石器の利用の仕方をみていこう。



【旧石器時代】

じんるい はじ ちきゅうじょう
人類(ヒト)が初めて地球上にあらわれたのは、300

まんねん いじょうまえ
万年以上前なんだ。

いし つく どうぐ せっき しゅつげん まんねん
石で作った道具の石器が出現したのは200万年よりも

まえ
前なんだ。

まんねんまえ きゅうせっき じだい
このころから1万年前ごろまでが旧石器時代というんだ。

じだい さむ かんそう にほん ちけい
この時代は、寒くて乾燥していたんだ。日本の地形も

いま
今とはだいぶちがっていたんだ。

にじょうさん まんねんまえ りょう
二上山のサヌカイトは3万年前ごろから利用されたんだ。

きゅうせつきじだい いし き どうぶつ ほね りょう
 旧石器時代の人たちは、石や木、そのほか動物の骨を利用して
 どうぐ つく か いえ しょくぶつ しょうどうぶつ
 道具を作って狩りをしたり、家のまわりの植物や小動物なんかを
 とって食べていたんだよ。

せつき ざいりょう にじょうさん わ
 だから石器の材料となった二上山のサヌカイトは、割るとガラスの
 ようにするどい刃ができるので貴重だったんだ。



きゅうせつきじん が
 旧石器人のゾウ狩りイメージ

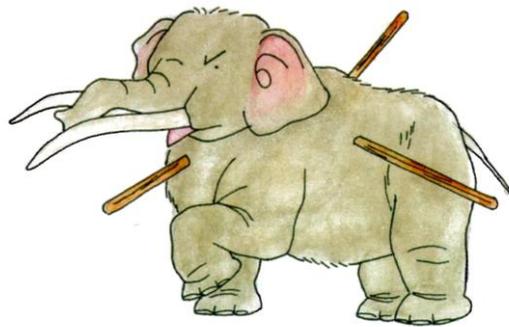


がたせつき
 ナイフ形石器

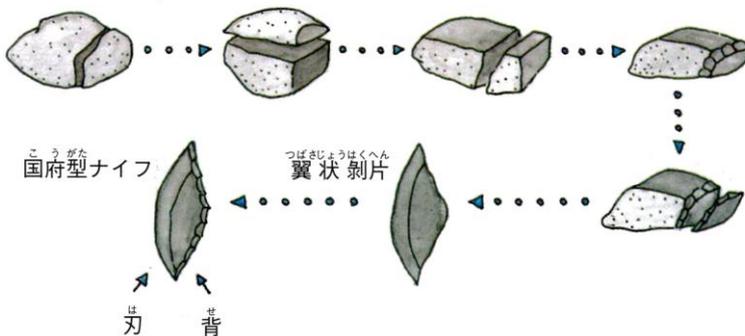
にほん きゅうせつきじだい だいひょうてき せつき
 日本の旧石器時代の代表的な石器で、
 さき がとが いて いま きりだ に
 先がとがっていて今の切出しナイフに似て
 いるところからこういう名前がついたんだ。

くみあわ せつき
 組合せ石器

ぼう ほ みぞ ちい がたせつき
 棒に彫りこんだ溝に、小さなナイフ形石器
 を埋めこんだ槍で、大きな動物を狩ること
 もできる石器なんだ。



せとうちぎぼう こうがた かた
 瀬戸内技法(国府型ナイフの作り方)



せつき つく てきとう いし わ
 石器を作るのには適当に石を割ってもできないんだ。

わ まえ せつき つく あたま なか たいせつ
 まず割る前にどんな石器を作るのかを頭の中でイメージすることが大切なんだよ。

サヌカイトをまるい石でたたいて適当な大きさの剥片をとるんだ。

サヌカイトは硬いようだけど、適切な場所を選んでほどよい力でたたくときれいに割れるだよ。

つぎ はくへん わ てきせつ ばしょ えら ちから わ
 次に剥片をまた割ってちょうどよい大きさになったら、動物の角や小さな河原石でふちの部分
 を打ち欠いて仕上げるんだ。





きついでいせきしゆつど じょうもんとき
狐井遺跡出土の縄文土器

じょうもんじだい
【縄文時代】

あたた にほんたいりくかんぜん まん
 しいに暖かくなって、日本は大陸と完全にきりはなされて、1万
 ねんまえ じょうもんじだい はじ
 年前ごろから縄文時代が始まるんだ。

ひと ねんど りようとき はじ
 人びとは粘土を利用して土器づくりを始めたんだよ。

かしばし きついでいせき じょうもんじだい とき
 香芝市でも狐井遺跡というところで縄文時代のめずらしい土器
 がみつかったんだ。

にじょうさん じょうもんじだい りよう じょう
 二上山のサヌカイトは縄文時代もさかんに利用されたんだ。縄

もんじだい せつき きゆうせつきじだい つか
 文時代の石器はね、旧石器時代ものより、なにに使うものかはっ
 きりしているんだ。

せきぞく
石鏃

ゆみや や つか
 弓矢の矢じりとして使われたんだよ。

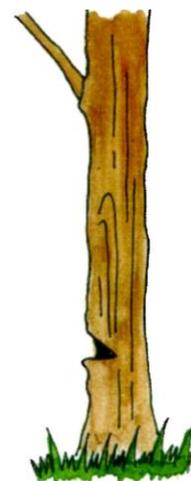
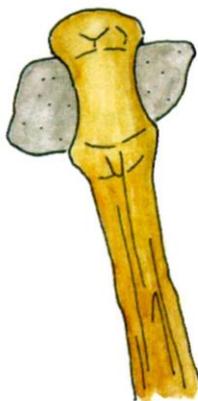


いしさじ
石匙

なまえ
 “さじ”っていう名前がついているけど、スプーンとして
 つか かわ
 使われていたのではなくて、動物の皮をはいたり、ナ
 つか
 イフとして使われていたんだ。

ませいせきふ
磨製石斧

おお どうぶつ かいたい き き
 大きな動物の解体や木を切る
 つか
 のに使っていたらしいんだ。



やよいじだい
【弥生時代】

たいりく こめ つた ねんまえ
大陸から米づくりが伝わって2, 400年前ごろから
弥生時代が始まるんだ。

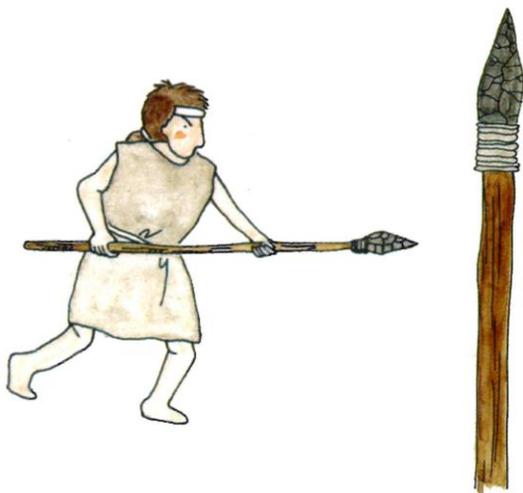
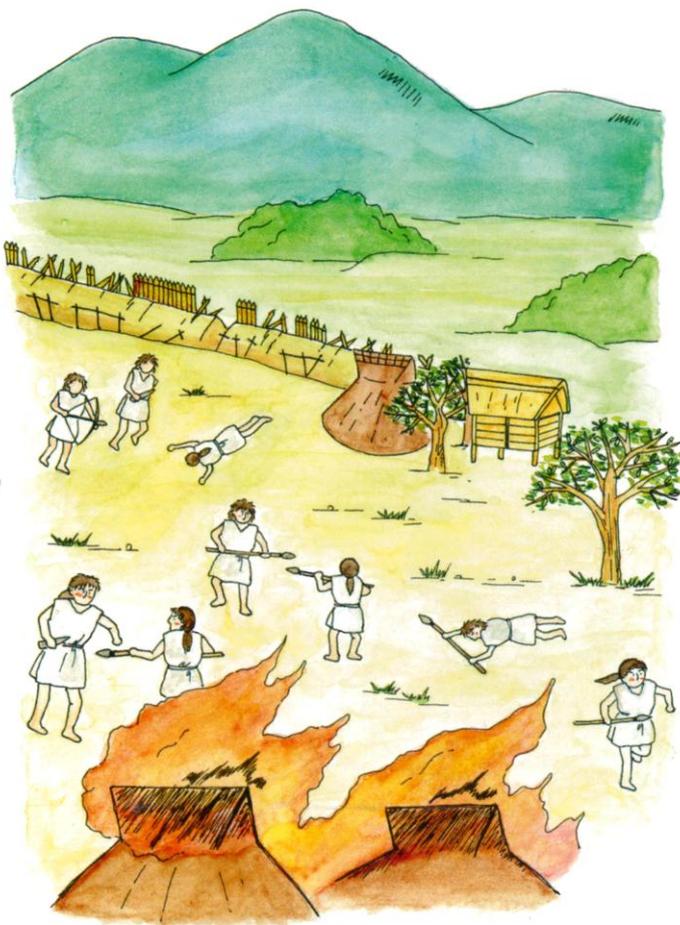
やよいじだい みず とち
でもね、弥生時代は水や土地をめぐってムラどうし
の戦争がおこったんだ…。

やよいじだい にじょうさん ちか さか
弥生時代の二上山の近くは、とっても栄えていた
んだよ。

いま ならけん おおさかふ せんそう つか
というのはね、今の奈良県や大阪府で戦争に使う

せっけん いしやり つか
ための石剣や石槍がよく使われるようになって、その
きょうきゅうき ち
供給基地だったからなんだ。

にじょうさん
二上山のふもとでサヌカイトをとって、それを石剣や
いしやり み かんせいひん た わらもとちょう から
石槍の未完成品までつくり、それが田原本町の唐
こ かざい せき はこ かんせいひん
古・鍵遺跡などのムラへ運ばれて、そこで完成品に
し あ
仕上げられたんだよ。



せっけん いしやり
石剣・石槍

うらおもてりょうほう めん は おお おお
裏表両方の面が刃になったものが多く、大きさは
10～20cmぐらいなんだ。

やよいじだい ぶき やり さき
弥生時代は、おもに武器としての槍の先や、さや
い たんけん つか
に入れられた短剣に使われたんだ。

どうだい、サヌカイトについてよくわかったかな？ 博物館の受付カウンターではスタンプカードを発行しているよ。スタンプが5つたまったら、わたしからプレゼントがあるよ。(小・中学生用ガイドシート No.3へ続く)

イラスト作成 勝井敦子

二上山博物館ご案内

常設展「二上山と3つの石～よみがえる旧石器時代～」

開館時間：午前9時00分～午後5時00分（入館は4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館し翌日が休館となります。）

観覧料：大人200円（150円）、学生150円（100円）、小人100円（50円）

*（ ）内は20名以上の団体割引料金。

●二上山博物館は毎週土曜日、高校生以下は無料で入館できます。

小・中学生用ガイドシート No.2

平成25年4月1日発行

二上山博物館

〒639-0243 奈良県香芝市藤山一丁目17番17号

TEL.0745-77-1700 FAX.0745-77-1601

E-mail nijyouzan@city.kashiba.lg.jp